

祝二十歳の門出



入山辺地区出身の
みなさん

二十歳のメッセージ

「ハタチの記念式典」が1月11日にキッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）で開催されました。

入山辺地区の対象者は14名でした。対象者にアンケートをお配りし回答いただきました。

● 氏名

- ① 二十歳を迎えた感想と今後の抱負
- ② どんな入山辺になってほしいか
- ③ 家族に向けて一言



地域の掲示板

● 新井 大登さん ●

- ① 転換と構築
- ② 山辺は、ただの田舎ではなく、人のぬくもりが今も息づく場所だ。名前を呼び合い、野菜を分け、季節の移ろいを共に感じて生きている。この優しさと自然の豊かさがこれからも当たり前前の景色として続き、誰もが帰ってきたくる居場所であってほしい。
- ③ 今まででじでありがとうございます。これからも胸はって生きます。親孝行は任せてください。

● 久保田 優乃さん ●

- ① 二十歳になって、とても嬉しいです。これからのことが楽しみです。今やっている仕事を責任をもって頑張り、自信をつけたいです。
- ② いつまでも、自然の豊かな入山辺でいてほしいです。
- ③ 私のやりたい事をいつもさせてくれて、ありがとうございます。いつか、私のお給料で旅行にいきましょう。

● 松崎 夢藍さん ●

- ① 自分の人生を自分で選択していく実感が湧いてきました。10代は環境や周りに影響される事が多く、20代は自分の意思で動ける年代にしたいと思います。これからの目標は、学び続ける姿勢を持ち、人間関係をより充実した人生を築いていきたいです。
- ② 入山辺には自然の豊かさと人の温かさが共存しています。私が望む入山辺の姿は、自然・暮らし・人の繋がりが丁寧に循環していく地域です。入山辺が「住みたい」と思われる場所であるだけでなく、「関わり続けたい」と思える地域であってほしいです。
- ③ 私を大切に育ててくれてありがとう。やりたい事を最後まで応援し、支えてくれる両親には感謝してもしきれません。否定をせず、真正面から向き合ってくれる姿勢が私にとって大きな指針となっています。これこそが私の誇りであり、掛け替えのない家族です。

● 小澤 直さん ●

- ① 今、私は、松本大学にて多くの事を学び、充実した学生生活を送っています。この時間に感謝しつつ、地域貢献できるような社会人になりたいと思っています。
- ② 自然豊かなままであってほしいです。
- ③ 家族みんなのお陰で、経験や視野を広げてくれてありがとうございます。あと2年、多くの事を学び、期待できる社会人になれるよう頑張ります。

二十歳を迎えられたみなさんが 生まれた年（平成17年度）に あった出来事

- 御柱大祭（橋倉諏訪神社、宮原神社、大和合神社）開催。
- 第79回入山辺地区大運動会 橋倉町会優勝。
- 映画「SILK」の撮影が大和合神社下の田畑で行われる。（SILKには役所広司さん、キーラ・ナイトレーさん等、有名な俳優さんが何人も出演され、音楽は坂本龍一さんが担当されました）
- 愛知万博（愛・地球博）の開催。
- 郵政民営化法成立。
- AKB48が結成され、秋葉原で初公演。

おめでとうございます



裏面に続きます



山辺中学校のみなさん

● 百瀬 心琴さん ●

- ① 自分自身、20歳になって大人になったなという感覚は全く無く、いつの間になつたなあという気持ちです。お酒を飲めるようになったことは嬉しいような、複雑なような…。抱負は、優しい人になることです。
- ② 入山辺独自の伝統行事が残って欲しいと思っています。私自身、伝統行事に参加したという経験はとても価値がある物だったと感じています。今継続が難しくなっている物もあると聞いていますが、若い世代の人達にもその魅力が伝わって、行事が引き継がれていけばと思います。
- ③ すごく迷惑をかけたと思うし、心配もかけたと思う。でも、いつも見守ってくれて、時にはしっかり叱ってくれてありがとう。皆との思い出が私の軸になっているんだと最近すごく感じているよ。これからたくさん恩返ししていければって思っている。大好きです。

● 百瀬 美紅さん ●

- ① あっという間の20年だったな—と思いました。これから1人の社会人として、自分の人生楽しんでいきます。
- ② 年齢関係なく仲良くなってほしいです。
- ③ 私の気持ちに寄り添って、今まで育ててくれてありがとうございます。これから会える機会は減ってしまっていますが、帰ってきたらたくさん話を聞いてください。これからもよろしくお願いします。

● 鶴田 ちせさん ●

- ① 20歳を迎え、大人としての責任を意識するようになりました。自分の選択に自覚を持ち、学び続けながら周囲に信頼される人を目指していきたいです。
- ② 世代を超えて人と人がつながり、安心して暮らせる地域であってほしいです。若者の声も大切にされる温かいまちづくりを期待しています。
- ③ これまで支え続けてくれて本当にありがとう。感謝の気持ちを忘れず、少しずつでも恩返しができるよう努力していきます。

11月1日、2日に「第47回入山辺地区文化祭」が開催され、約300名の方が来場されました。屋外でのステージ発表は天候にも恵まれ、例年より多くの方に観覧いただき、活気溢れる文化祭となりました。

入山辺地区文化祭



我が町会の自慢!

西桐原町会

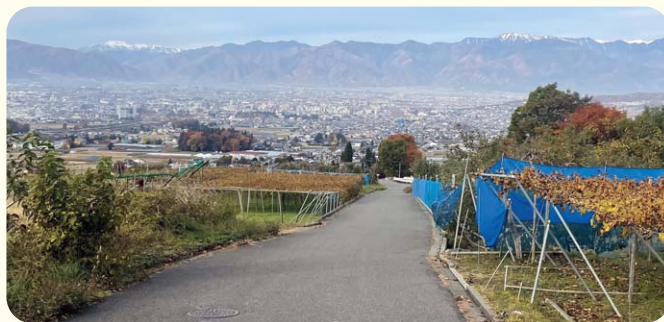
柴宮社から山手の方に五分ほど徒歩で行きますと上金井から千手駒越に通じる道路に出ます。ここから見渡す景観は素晴らしいものがあります。松本市内の全貌と天気の晴れて澄んでいるときの北アルプスの山並みの眺めです。今から九年前二〇一五年松本の美しい深緑の風景が特に印象的だった青春郡像映画「オ

レンジ」の撮影にも使われていました。その一部が見渡す松本市内の全景がこの道路から映像化されています。私西桐原住民として、この景観は自慢にも出来まますし、宝だと思います。

また、ここから見渡す夜景も息を呑む美しさがあり、これもまた格別です。

是非、一度見に来て下さい。

(町内公民館長
森下邦典)



新しい民生委員・

児童委員の皆さん

(昨年十二月改正)

原田 ミツ(橋倉、南方)
滝沢 雅敬(西桐原)
鎌倉 律子(東桐原)
伊藤佳代子(舟付・宮原)
赤羽 正(北入中部・千手駒越)
斉藤 高子(三反田・奈良尾・上手町)
朝倉 康直(原慶所・大仏・一の海)
羽山登美子(大和合・牛立)
前田 民江(三城)
大澤 深志(主任児童委員)